

地場企業の経営動向調査

(平成29年度第3四半期)

平成30年1月24日

 福岡商工会議所

総合企画部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

調査対象

当所会員企業を対象とし2,000社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業1,905社（構成比率95.3%）、大企業95社（構成比率4.8%）により構成されている。

回答した企業数は671社、回答率33.6%となっており、回答企業の内訳は、中小企業637社（構成比率94.9%）、大企業34社（5.1%）となっている。

調査要領

四半期毎にアンケートを実施し、今回ファクスを利用した。

内容は前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成29年10～12月期の実績、及び平成30年1～3月期の予想について、平成29年12月時点で調査した。

調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI・・・Diffusion Index（景気動向指数）の略

《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 資金繰り
8. 当面の経営上の問題点

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果 構成比
全業種	2,000	671	33.6%	
中小企業	1,905	637	33.4%	94.9%
大企業	95	34	35.8%	5.1%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果 構成比
全業種	2,000	671	33.6%	
建設業	342	123	36.0%	18.3%
土木建設業	138	45	32.6%	6.7%
建設付帯工事業	82	28	34.1%	4.2%
電気・管工事業	122	50	41.0%	7.5%
製造業	241	87	36.1%	13.0%
食料品製造業	76	17	22.4%	2.5%
繊維製品製造業	11	6	54.5%	0.9%
建材・木・紙製品製造業	9	4	44.4%	0.6%
印刷・製本業	45	15	33.3%	2.2%
窯業・土木製品製造業	9	3	33.3%	0.4%
金属製品製造業	21	12	57.1%	1.8%
一般機械器具製造業	22	12	54.5%	1.8%
電気機械器具製造業	22	7	31.8%	1.0%
その他製造業	26	11	42.3%	1.6%
卸売業	307	124	40.4%	18.5%
食料品卸売業	82	27	32.9%	4.0%
繊維製品卸売業	26	10	38.5%	1.5%
建材・住宅機器卸売業	41	21	51.2%	3.1%
金属・鋼材卸売業	5	0	0.0%	0.0%
一般機械器具卸売業	53	18	34.0%	2.7%
電気機械製品卸売業	9	5	55.6%	0.7%
石油・化学製品卸売業	11	6	54.5%	4.9%
その他卸売業	80	37	46.3%	5.5%
小売業	224	70	31.3%	10.4%
食料品小売業	57	12	21.1%	1.8%
衣料品・身の回り品小売業	32	5	15.6%	0.7%
石油・化学製品小売業	10	6	60.0%	0.9%
車両運搬具小売業	15	5	33.3%	0.7%
家電・厨房器具小売業	22	12	54.5%	1.8%
量販店	3	0	0.0%	0.0%
その他小売業	85	30	35.3%	4.5%
運輸・倉庫業	115	41	35.7%	6.1%
旅客運送業	38	12	31.6%	1.8%
貨物運送・倉庫業	77	29	37.7%	4.3%
サービス業	771	226	29.3%	33.7%
情報処理サービス業	111	34	30.6%	5.1%
その他事務所サービス業	364	108	29.7%	16.1%
ホテル・旅館・飲食業	104	32	30.8%	4.8%
その他の個人サービス業	192	52	27.1%	7.7%

1. 自社・業界の景況

《景気は緩やかな回復基調が続く》

今四半期（H29年10～12月）の地場企業の景況状況としては、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は25.8%（前期比+4.2ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は27.3%（前期比±0.0ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は43.5%（前期比▲3.7ポイント）となった。景況判断指数DI値は▲1.5（前期DI値▲5.7）となり、前期比で+4.2ポイントと、改善した。

業種別にみると、運輸・倉庫業（前期▲2.4→今期+21.9）、建設業（▲6.2→+2.4）、製造業（▲15.9→▲8.0）、小売業（▲19.2→▲15.7）、卸売業（▲11.3→▲8.1）で改善となったが、サービス業（+4.9→+2.6）では悪化となった。

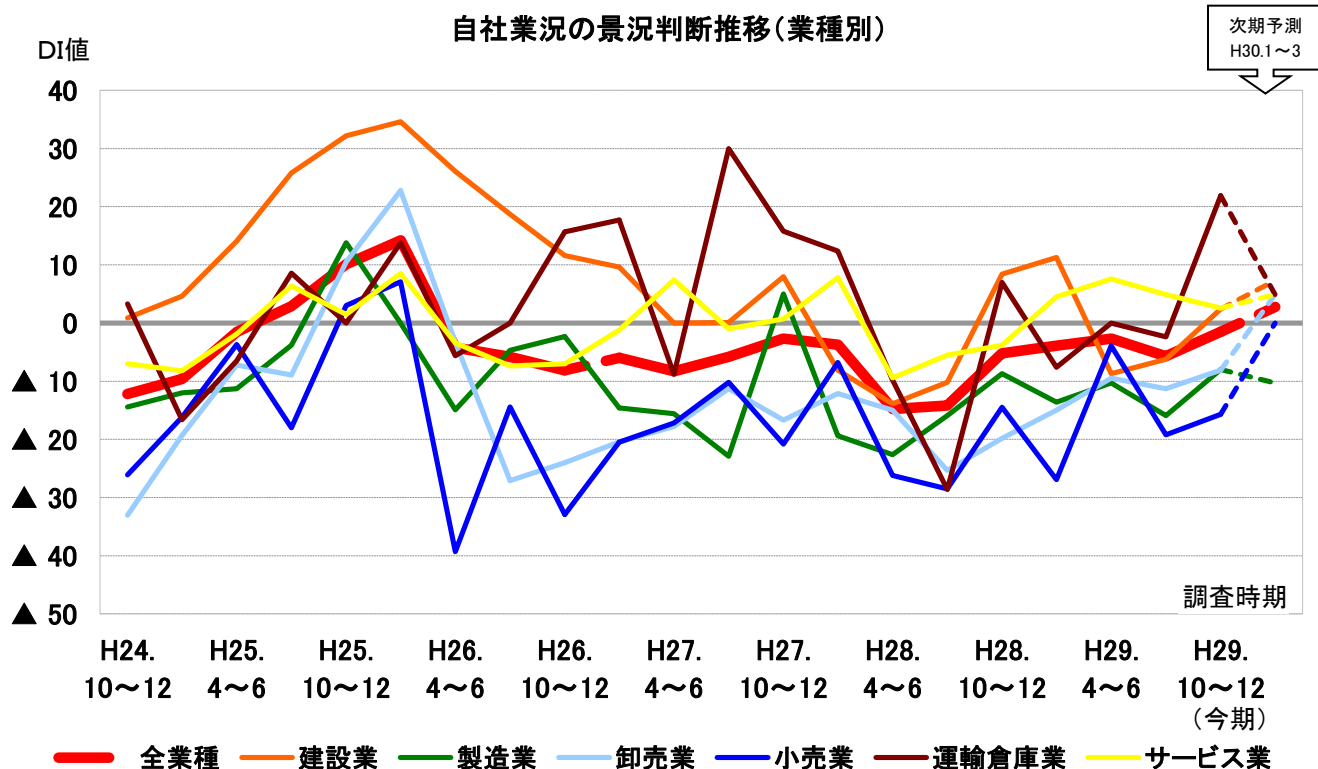
規模別にみると、中小企業・大企業とも改善し、特に大企業は+8.9（前期比+11.9ポイント）と大幅に改善となった。（中小企業DI値▲2.1（前期比+3.7ポイント））

次期四半期（平成30年1月～3月）予測については、+2.8となっており、今期比+4.3ポイントで、さらに改善の見通しとなる。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(29年10～12月期)実績							次四半期(30年1～3月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	2.8	23.0	43.5	23.0	4.3	3.4	▲1.5	1.3	20.1	44.7	16.7	1.9	15.2	2.8
建設業	2.4	19.5	53.7	17.9	1.6	4.9	2.4	1.6	17.9	52.0	12.2	0.0	16.3	7.3
製造業	6.9	18.4	35.6	24.1	9.2	5.7	▲8.0	4.6	18.4	26.4	29.9	3.4	17.2	▲10.3
卸売業	4.0	23.4	35.5	29.0	6.5	1.6	▲8.1	0.8	21.8	41.9	15.3	2.4	17.7	4.9
小売業	0.0	24.3	32.9	35.7	4.3	2.9	▲15.7	0.0	22.9	42.9	18.6	4.3	11.4	0.0
運輸・倉庫業	0.0	31.7	58.5	9.8	0.0	0.0	21.9	0.0	17.1	53.7	12.2	0.0	17.1	4.9
サービス業	2.2	24.3	46.0	20.4	3.5	3.5	2.6	0.9	20.8	48.2	15.0	1.8	13.3	4.9
中小企業	2.7	22.4	44.1	22.8	4.4	3.6	▲2.1	1.3	19.6	44.3	17.0	2.0	15.9	1.9
大企業	5.9	32.4	32.4	26.5	2.9	0.0	8.9	2.9	29.4	52.9	11.8	0.0	2.9	20.5



2. 生産額、売上額、完成工事高

《緩やかな改善傾向にある》

生産額、売上額、完成工事高については、全業種では「増えた」と回答した企業は26.4%（前期比+3.7ポイント）、「減った」と回答した企業は24.3%（前期比+0.3ポイント）、「横ばい」と回答した企業は46.9%（前期比▲3.8ポイント）となっており、DI値は+2.1（前期DI値▲1.3）と、前期比+3.4ポイントの改善となった。

業種別にみると、運輸・倉庫業（前期▲7.0→+12.2）、卸売業（▲13.8→+1.5）、製造業（▲7.4→▲3.4）は改善した。一方、小売業（▲5.2→▲8.6）、建設業（+3.2→+1.6）、サービス業（+7.1→+6.2）で悪化となった。

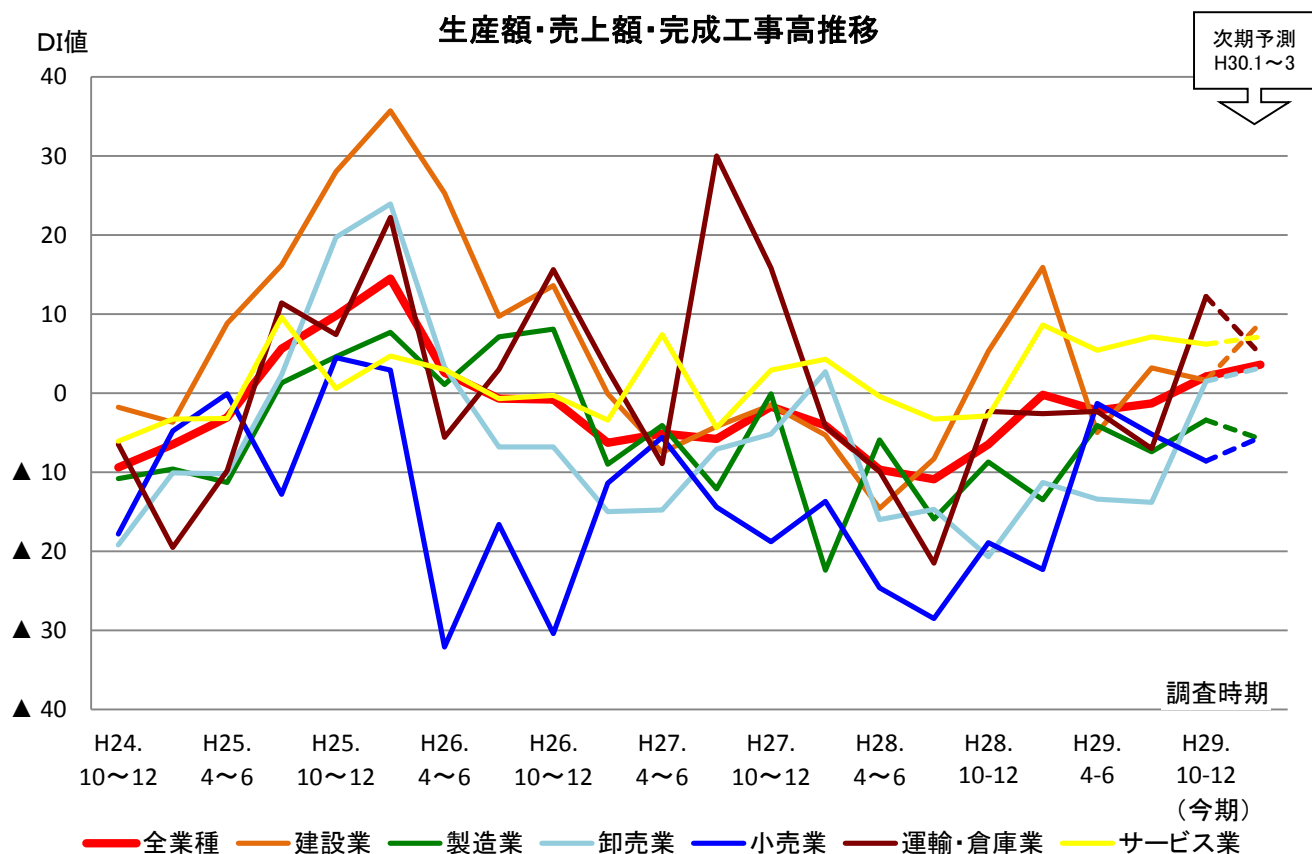
規模別にみると、中小企業・大企業とも改善し、特に大企業は▲29.5（前期比▲17.7ポイント）と大幅に改善となった。（中小企業DI値+0.6（前期比+2.6ポイント））

次四半期（平成30年1月～3月）予測については+3.6となっており、緩やかな改善の見通しとなる。

《生産額、売上額、完成工事高（前年同期と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(29年10～12月期)実績							次四半期(30年1～3月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	4.6	21.8	46.9	18.9	5.4	2.4	2.1	1.9	17.3	51.1	14.0	1.6	14.0	3.6
建設業	5.7	14.6	58.5	13.8	4.9	2.4	1.6	1.6	15.4	61.0	8.1	0.0	13.8	8.9
製造業	6.9	21.8	37.9	24.1	8.0	1.1	▲3.4	5.7	13.8	41.4	23.0	2.3	13.8	▲5.8
卸売業	5.6	23.4	42.7	21.0	6.5	0.8	1.5	0.8	18.5	53.2	13.7	2.4	11.3	3.2
小売業	1.4	22.9	37.1	28.6	4.3	5.7	▲8.6	2.9	14.3	45.7	21.4	1.4	14.3	▲5.6
運輸・倉庫業	0.0	26.8	56.1	14.6	0.0	2.4	12.2	0.0	17.1	51.2	12.2	0.0	19.5	4.9
サービス業	4.4	23.5	47.8	16.4	5.3	2.7	6.2	1.3	19.9	50.0	11.9	2.2	14.6	7.1
中小企業	4.6	20.7	47.6	19.0	5.7	2.5	0.6	1.9	16.6	50.7	14.6	1.7	14.4	2.2
大企業	5.9	41.2	35.3	17.6	0.0	0.0	29.5	2.9	29.4	58.8	2.9	0.0	5.9	29.4



3. 原材料、製（商）品仕入価格

《足元では上昇したが、横ばいの傾向》

原材料、製（商）品仕入価格については、「上昇」と回答した企業は30.1%（前期比+3.5ポイント）、「下落」と回答した企業は1.6%（前期比±0.0ポイント）、「横ばい」と回答した企業は55.7%（前期比▲3.5ポイント）となっており、DI値は+28.5（前期+25.0）と前期比+3.5ポイントと、上昇となった。

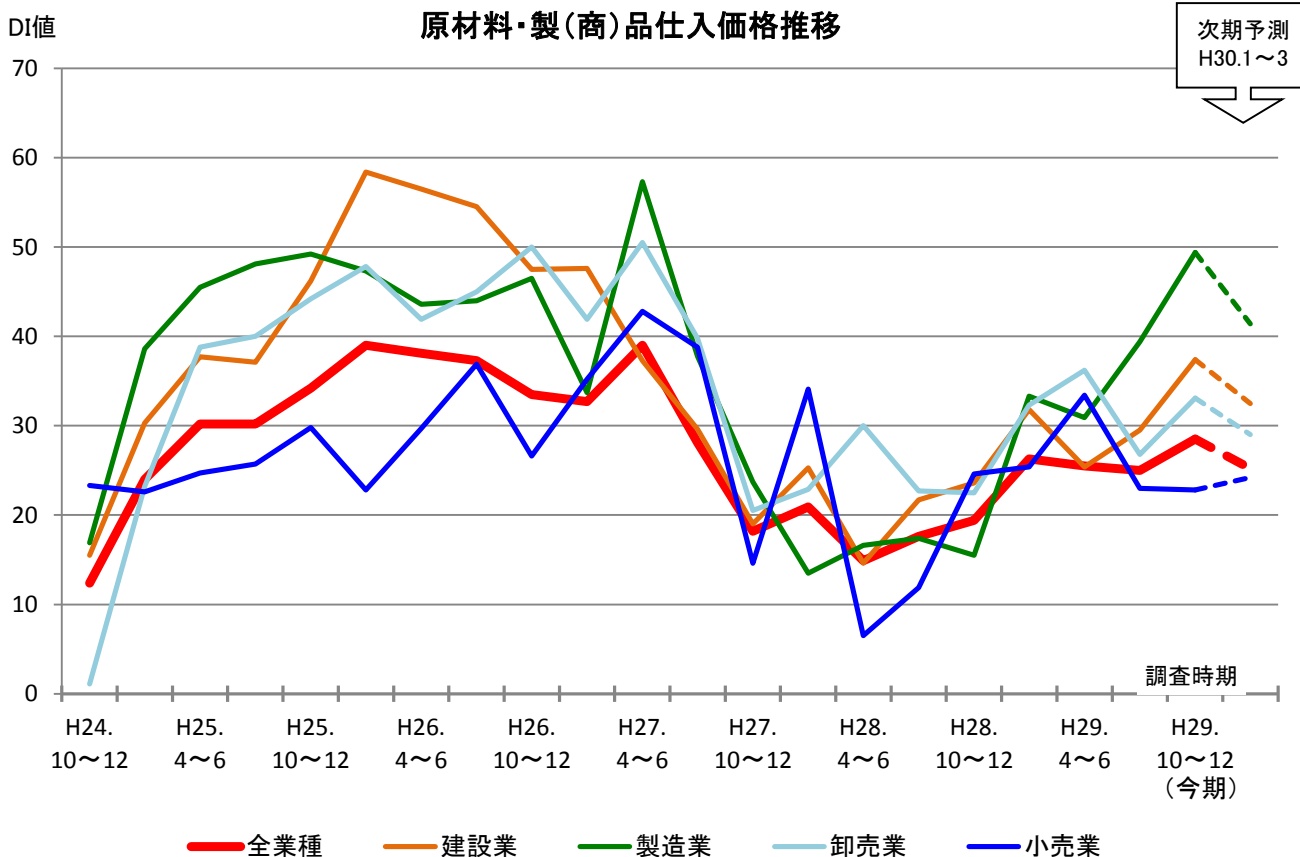
業種別にみると、製造業（前期+39.4→今期+49.4）、建設業（+29.5→+37.4）、卸売業（+26.8→+33.1）、運輸・倉庫業（+20.9→22.0）、で上昇となったが、サービス業（+17.7→+16.0）、小売業（+23.0→+22.8）では下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期+25.5→今期+28.9）、大企業（+14.7→+20.6）ともに上昇となった。

次四半期（平成30年1月～3月）予測については、+25.2となっており、今期比で▲3.3ポイントで、横ばいの見通しとなる。

《 原材料、製品仕入価格（前年同期と比較して） 》 (単位 %)

	今四半期(29年10～12月期)実績					次四半期(30年1～3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	30.1	55.7	1.6	12.5	28.5	26.4	49.6	1.2	22.8	25.2
建設業	38.2	56.1	0.8	4.9	37.4	33.3	49.6	0.8	16.3	32.5
製造業	49.4	49.4	0.0	1.1	49.4	41.4	42.5	0.0	16.1	41.4
卸売業	36.3	58.1	3.2	2.4	33.1	30.6	53.2	1.6	14.5	29.0
小売業	27.1	61.4	4.3	7.1	22.8	27.1	47.1	2.9	22.9	24.2
運輸・倉庫業	22.0	36.6	0.0	41.5	22.0	14.6	36.6	0.0	48.8	14.6
サービス業	17.3	58.4	1.3	23.0	16.0	16.4	53.5	1.3	28.8	15.1
中小企業	30.6	55.7	1.7	11.9	28.9	26.7	49.5	1.3	22.6	25.4
大企業	20.6	55.9	0.0	23.5	20.6	20.6	52.9	0.0	26.5	20.6



4. 受注価格、販売価格

《今期は上昇、次期は横ばいの見通し》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業は11.9%（前期比+3.9ポイント）、「下落」と回答した企業は10.3%（前期比▲0.8ポイント）、「横ばい」と回答した企業は72.7%（前期比▲2.3ポイント）となっており、DI値は+1.6（前期DI値▲3.1）と前期比+4.7ポイントとなった。

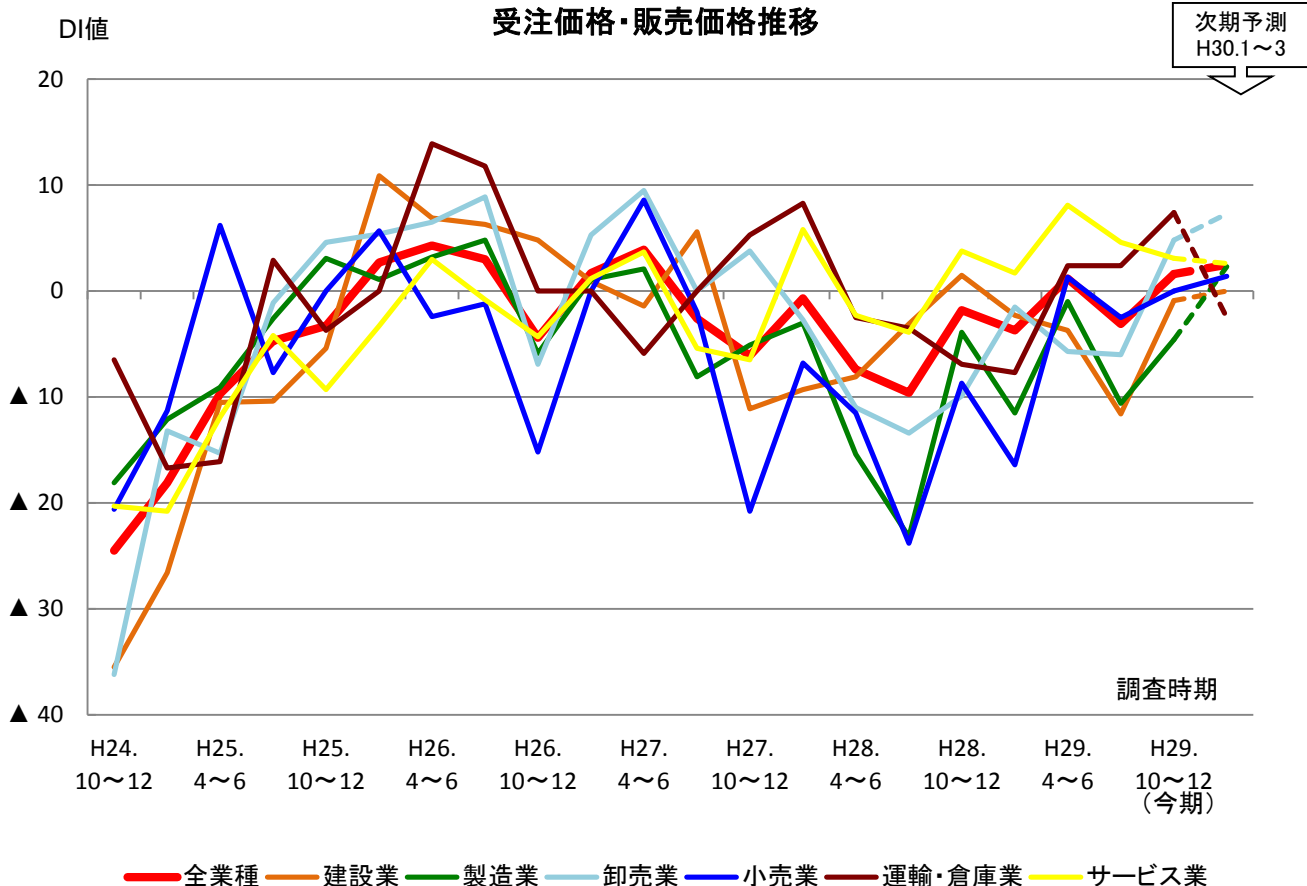
業種別にみるとサービス業（前期+4.6→今期+3.1）は下落した。一方で卸売業（▲6.0→+4.8）、建設業（▲11.6→▲0.9）、製造業（▲10.6→▲4.6）、運輸・倉庫業（+2.4→+7.4）、小売業（▲2.5→±0.0）は上昇となった。

規模別にみると、中小企業（前期▲3.4→今期+0.2）、大企業（+3.0→+29.4）ともに上昇となった。

次期（平成30年1月～3月）予測については、+2.5となっており、今期比で+0.9ポイントと横ばいの見通しとなる。

《 受注価格、販売価格(前年同月と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(29年10～12月期)実績					次四半期(30年1～3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	11.9	72.7	10.3	5.1	1.6	9.8	66.6	7.3	16.2	2.5
建設業	8.9	77.2	9.8	4.1	▲0.9	7.3	69.1	7.3	16.3	0.0
製造業	10.3	74.7	14.9	0.0	▲4.6	12.6	63.2	10.3	13.8	2.3
卸売業	15.3	74.2	10.5	0.0	4.8	11.3	71.8	4.0	12.9	7.3
小売業	12.9	67.1	12.9	7.1	0.0	10.0	60.0	8.6	21.4	1.4
運輸・倉庫業	9.8	73.2	2.4	14.6	7.4	2.4	61.0	4.9	31.7	▲2.5
サービス業	12.4	70.4	9.3	8.0	3.1	10.6	66.8	8.0	14.6	2.6
中小企業	11.0	73.0	10.8	5.2	0.2	9.3	66.4	7.5	16.8	1.8
大企業	29.4	67.6	0.0	2.9	29.4	20.6	70.6	2.9	5.9	17.7



5. 製（商）品在庫

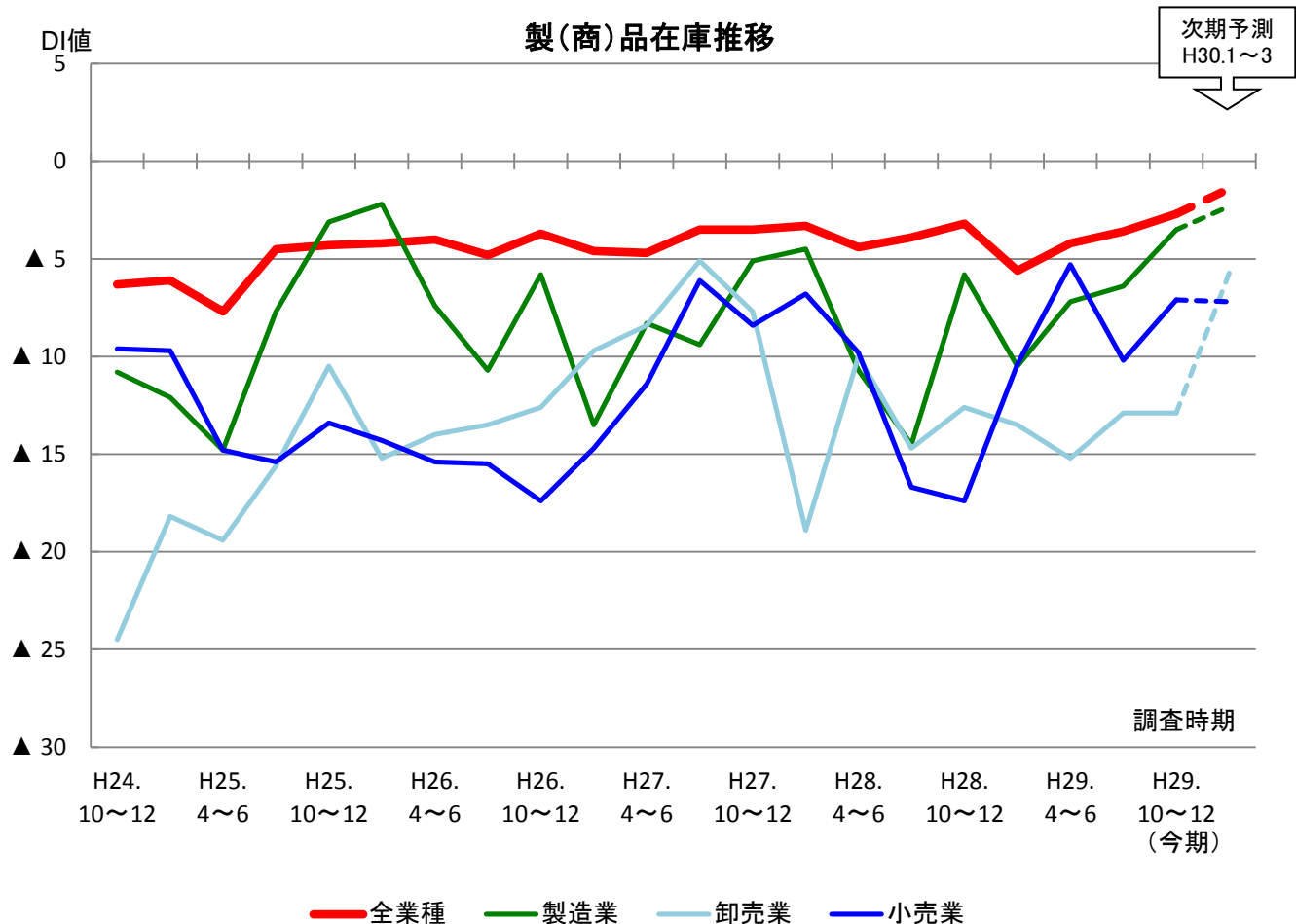
《緩やかに適正方向へ》

製（商）在庫については、「適正」と回答した企業は66.9%（前期比▲1.3ポイント）、「不足」と回答した企業は3.4%（前期比+1.0ポイント）、「過剰」と回答した企業は6.1%（前期比+0.1ポイント）となっており、DI値は▲2.7（前期DI値▲3.6）となった。

次四半期（平成30年1月～3月）予測については、▲1.4（今期比+1.3ポイント）の見通しとなる。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》（単位 %）

	今四半期(29年10～12月期)実績					次四半期(30年1～3月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	3.4	66.9	6.1	23.5	▲2.7	2.8	61.4	4.2	31.6	▲1.4
建設業	4.9	57.7	1.6	35.8	3.3	2.4	52.0	0.8	44.7	1.6
製造業	8.0	80.5	11.5	0.0	▲3.5	5.7	71.3	8.0	14.9	▲2.3
卸売業	0.8	83.1	13.7	2.4	▲12.9	0.8	78.2	6.5	14.5	▲5.7
小売業	2.9	74.3	10.0	12.9	▲7.1	1.4	64.3	8.6	25.7	▲7.2
運輸・倉庫業	0.0	36.6	2.4	61.0	▲2.4	0.0	36.6	2.4	61.0	▲2.4
サービス業	3.1	61.1	1.8	34.1	1.3	4.0	57.1	2.2	36.7	1.8
中小企業	3.6	67.0	6.3	23.1	▲2.7	2.8	61.2	4.2	31.7	▲1.4
大企業	0.0	64.7	2.9	32.4	▲2.9	2.9	64.7	2.9	29.4	0.0



6. 営業利益

《今期は横ばい、次期は改善の見通し》

営業利益については、「増加」と回答した企業は19.8%（前期比+1.0ポイント）、「減少」と回答した企業は32.8%（前期比+2.3ポイント）、「横ばい」と回答した企業は46.1%（前期比▲2.9ポイント）となっており、DI値は▲13.0（前期DI値▲11.7）で前期比▲1.3ポイントとなった。

業種別にみると、運輸・倉庫業（▲7.0→+12.2）、建設業（▲15.5→▲8.1）、製造業（▲22.3→▲20.7）では改善した。一方、小売業（▲10.3→▲28.6）、卸売業（▲12.1→▲16.9）、サービス業（▲6.9→▲10.1）は悪化となった。

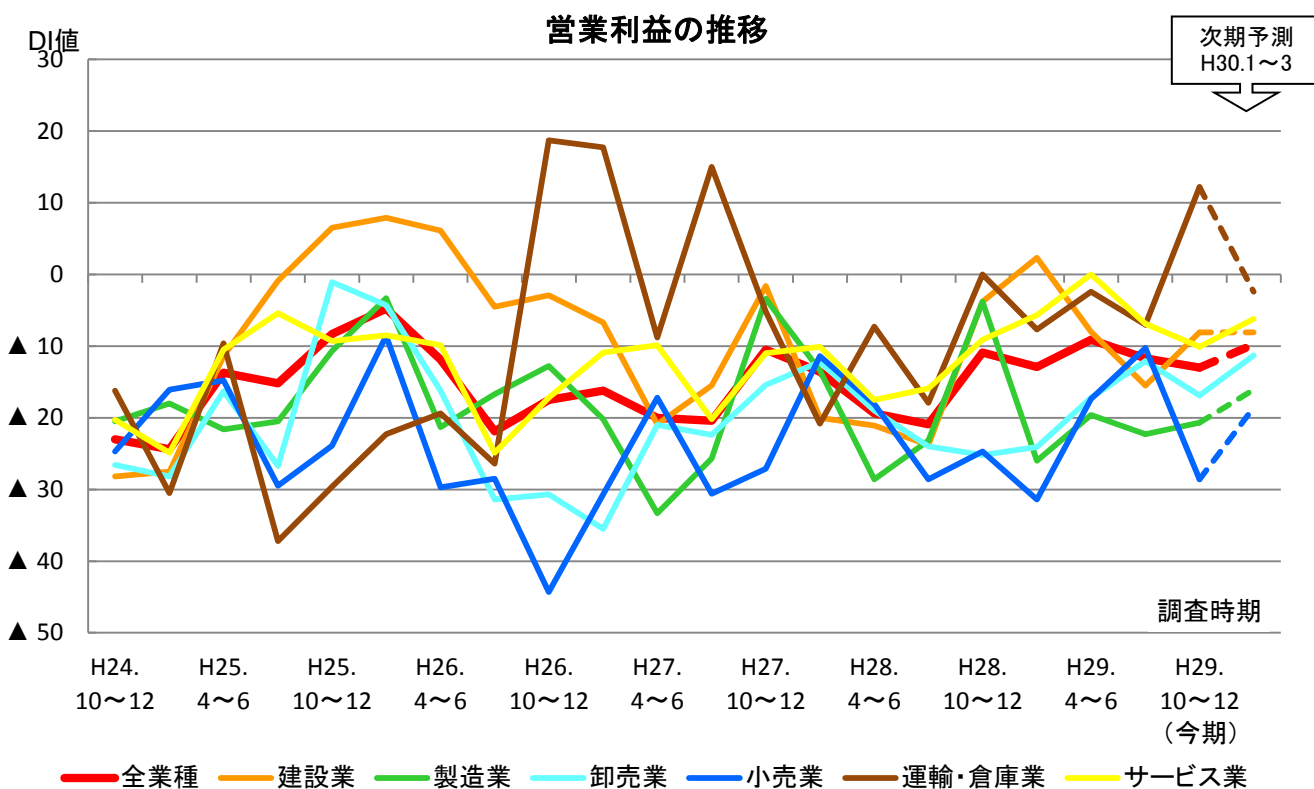
規模別にみると、中小企業では▲13.8（前期比▲2.1ポイント）と悪化したが、大企業では+3.0（前期比+14.8ポイント）と大幅に改善した。

次四半期（平成30年1月～3月）予測については、▲9.8となっており、今期比で+3.2ポイントで、改善の見通しとなる。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(29年10~12月期)実績					次四半期(30年1~3月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	19.8	46.1	32.8	1.3	▲13.0	13.7	48.7	23.5	14.0	▲9.8
建設業	19.5	51.2	27.6	1.6	▲8.1	12.2	53.7	20.3	13.8	▲8.1
製造業	19.5	40.2	40.2	0.0	▲20.7	14.9	39.1	31.0	14.9	▲16.1
卸売業	22.6	37.1	39.5	0.8	▲16.9	13.7	49.2	25.0	12.1	▲11.3
小売業	14.3	41.4	42.9	1.4	▲28.6	10.0	42.9	28.6	18.6	▲18.6
運輸・倉庫業	24.4	63.4	12.2	0.0	12.2	12.2	53.7	14.6	19.5	▲2.4
サービス業	19.5	48.7	29.6	2.2	▲10.1	15.5	50.4	21.7	12.4	▲6.2
中小企業	18.7	47.4	32.5	1.4	▲13.8	13.0	48.8	23.5	14.6	▲10.5
大企業	41.2	20.6	38.2	0.0	3.0	26.5	47.1	23.5	2.9	3.0



7. 資金繰り

《足元では改善し、この1年は横ばいの傾向にある。》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は14.5%（前期比+3.1ポイント）、「苦しい」と回答した企業は14.0%（前期比▲1.1ポイント）、「不変」と回答した企業は69.6%（前期比▲3.1ポイント）となっており、DI値は+0.5（前期DI値▲3.7）と前期比+4.2ポイントと、改善した。

業種別にみると、小売業（▲5.2→▲14.3）、製造業（▲12.7→▲17.3）は悪化した。一方運輸・倉庫業（▲2.3→+12.2）、卸売業（▲6.1→+2.4）、サービス業（±0.0→+6.6）、建設業（▲1.5→+4.0）は改善した。

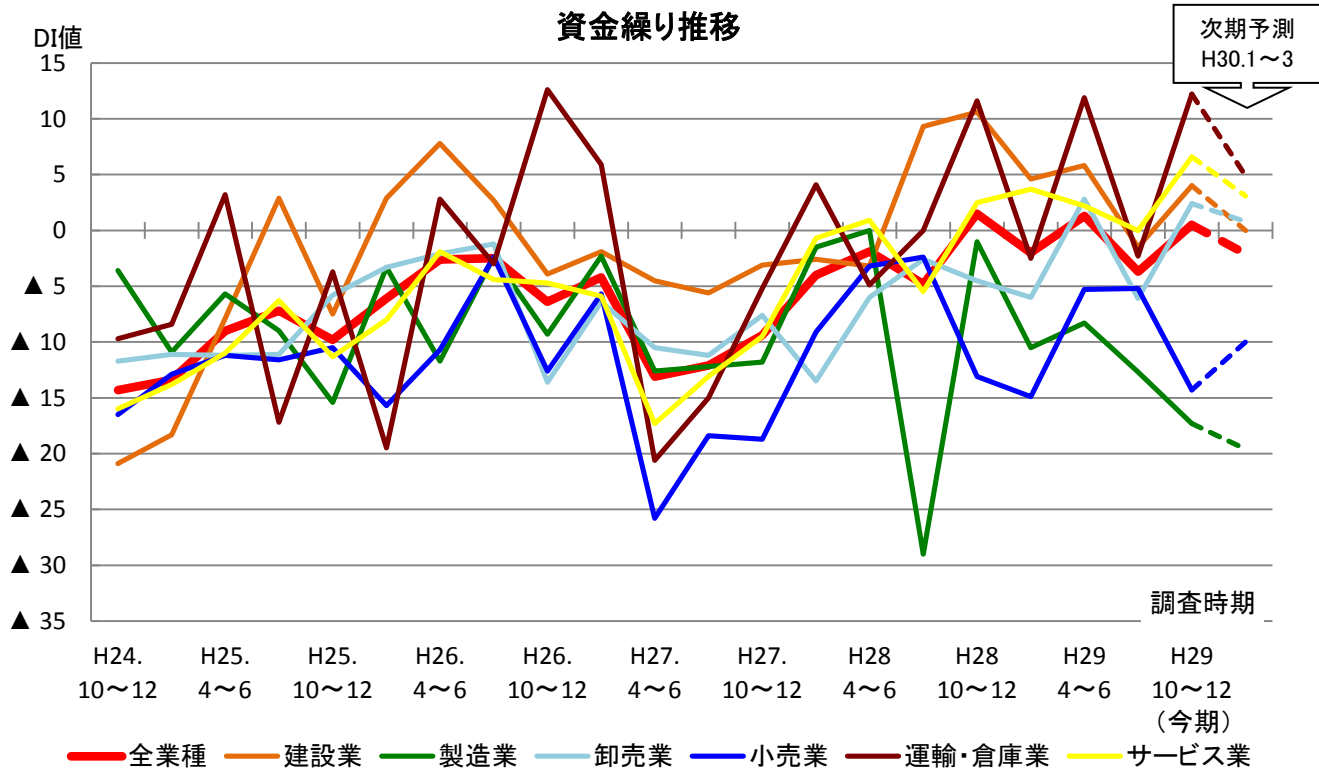
規模別にみると、中小企業（前期▲4.4→今期±0.0）では改善し、大企業（+8.9→+8.8）では横ばいとなった。

次四半期（平成30年1月～3月）予測については、▲2.1となっており、今期比で▲2.6ポイントと、横ばいの傾向となる。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(29年10～12月期)実績					次四半期(30年1～3月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	14.5	69.6	14.0	1.9	0.5	9.8	63.9	11.9	14.3	▲2.1
建設業	15.4	70.7	11.4	2.4	4.0	8.9	67.5	8.9	14.6	0.0
製造業	10.3	60.9	27.6	1.1	▲17.3	5.7	52.9	25.3	16.1	▲19.6
卸売業	16.9	67.7	14.5	0.8	2.4	12.1	64.5	11.3	12.1	0.8
小売業	4.3	74.3	18.6	2.9	▲14.3	2.9	64.3	12.9	20.0	▲10.0
運輸・倉庫業	17.1	73.2	4.9	4.9	12.2	7.3	70.7	2.4	19.5	4.9
サービス業	16.8	71.2	10.2	1.8	6.6	13.3	64.6	10.2	11.9	3.1
中小企業	14.8	68.4	14.8	2.0	0.0	9.9	62.6	12.6	14.9	▲2.7
大企業	8.8	91.2	0.0	0.0	8.8	8.8	88.2	0.0	2.9	8.8



8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着化の悪化」52.5%（前期比+0.9ポイント）であり、次いで「受注、需要の増加又は減少」33.4%（前期比+0.9ポイント）、「営業利益の低下」28.0%（前期比▲0.4ポイント）、「経費の増加」25.0%（前期比+2.0ポイント）、「天候などの自然条件」16.4%（前期比+0.3ポイント）となった。

業種別でみると、「人材難、求人難、定着化の悪化」が最も多い割合とする業種が多く、建設業69.9%、運輸・倉庫業65.9%、サービス業57.1%、卸売業40.3%、小売業30.0%となっている。また「受注、需要の増加又は減少」が最も多かった業種は製造業48.3%であった。

規模別でみると、中小企業、大企業ともに「人材難、求人難、定着化の悪化」が最も多く、中小企業52.0%、大企業61.8%であった。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

(単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	条天 件候 などの 自然	加受 又注 は減 少需 の要 の増	出店 、業 者、 大型 店類 の進	官公 需の 要の 停滞	輸 出の 不振	少元 (直)請 の減	低操 下業 率、 稼働 率	難原 材材 料高 、入 手	の出 荷下 、納 品価 格	過 剰在 庫	嫁販 難売 価 格へ の転	増難 加、 販 売代 金の 債権 の収	化売 掛 手期 間 の長 期
全業種	16.4	33.4	10.4	7.5	0.4	3.0	3.9	15.9	4.6	3.3	13.3	0.9	3.1
建設業	16.3	42.3	5.7	9.8	0.0	11.4	4.1	13.0	2.4	0.0	9.8	0.0	3.3
製造業	11.5	48.3	8.0	2.3	0.0	0.0	9.2	32.2	9.2	5.7	24.1	0.0	2.3
卸売業	25.8	35.5	9.7	6.5	0.8	0.0	2.4	18.5	5.6	8.1	16.1	0.0	4.8
小売業	22.9	21.4	25.7	8.6	1.4	1.4	0.0	12.9	10.0	7.1	18.6	2.9	4.3
運輸・倉庫業	14.6	17.1	0.0	2.4	2.4	0.0	4.9	22.0	0.0	2.4	7.3	0.0	0.0
サービス業	11.5	28.3	11.5	9.3	0.0	2.2	3.5	9.7	2.7	0.4	8.8	1.8	2.7
中小企業	15.9	33.0	10.2	7.5	0.5	3.1	3.8	16.5	4.7	3.5	13.8	0.9	3.3
大企業	26.5	41.2	14.7	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0

5位 2位

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費 の増 加	営 業利 益の 低下	不隘 足、 舗、 駐工 車場 用の 地狭	店代 、舗 の老 朽、 遅れ 、過 近	上家 が賃 り、 地代 の値	化難 人、 材 定 着、 化求 の人 悪	費人 増手 過 剩、 人 件	対労 策務 管 理、 組 合	資 金借 入 難	金 利負 担の 増 加	難情 報不 足、 人 手	そ の 他	無 回 答
全業種	25.0	28.0	3.1	7.3	3.1	52.5	10.3	7.2	3.1	2.5	3.6	2.7	6.4
建設業	22.8	26.8	2.4	1.6	2.4	69.9	12.2	5.7	2.4	0.0	4.1	2.4	5.7
製造業	19.5	32.2	8.0	9.2	3.4	44.8	4.6	3.4	5.7	3.4	2.3	0.0	3.4
卸売業	23.4	32.3	1.6	7.3	0.8	40.3	4.8	3.2	2.4	3.2	1.6	4.0	6.5
小売業	31.4	41.4	2.9	14.3	4.3	30.0	18.6	5.7	2.9	2.9	4.3	4.3	10.0
運輸・倉庫業	22.0	14.6	2.4	7.3	4.9	65.9	7.3	12.2	0.0	2.4	2.4	7.3	7.3
サービス業	27.9	23.0	2.7	7.5	4.0	57.1	12.4	11.1	3.5	3.1	4.9	1.8	6.6
中小企業	25.3	28.3	3.0	6.9	2.8	52.0	10.4	6.4	3.3	2.5	3.8	2.8	6.4
大企業	20.6	23.5	5.9	14.7	8.8	61.8	8.8	20.6	0.0	2.9	0.0	0.0	5.9

4位 3位

1位

自社業況の景況判断推移(「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考)

